

別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第1回登米市立図書館協議会
開 催 日 時	令和4年5月31日(火) 午後1時30分開会 午後2時45分閉会
開 催 場 所	中田生涯学習センター 2階 学習室
議 長 (委 員 長 又 は 会 長) の 氏 名	西條正典会長
出席者(委員)の 氏 名	三浦てい子副会長、富士原抄子委員、佐々木絹子委員、後藤美和委員、 八嶋賢子委員、加藤弘子委員、佐々木芳子委員、竹内透史委員
欠席者(委員)の 氏名	阿部よし江委員
事務局職員職氏 名	教育長 小野寺文晃、教育部長 小林和仁、教育部次長 菅原正博、生 涯学習課長 山形敦、係長 佐々木俊樹、主査 伊東智、中田生涯学習 センター所長 菊地孝之、迫・登米図書館長 及川幸記、副館長 伊藤 知幸、迫図書館事務員 野家文恵、登米図書館技術主幹 本間文
議 題	令和3年度登米市立図書館(室)事業実績報告について 令和4年度登米市立図書館(室)事業計画について 新図書館整備について
会 議 結 果	令和3年度登米市立図書館(室)事業実績報告について、令和4年度 登米市立図書館(室)事業計画について、及び新図書館整備について説 明を行い、図書館運営、市民アンケートの実施、今後の予定に対して意 見を頂いた。
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	第1回 登米市立図書館協議会 (1) 令和3年度登米市立図書館(室)事業実績報告について (2) 令和4年度登米市立図書館(室)事業計画について (3) 新図書館整備について

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
事務局 会長 教育長	開会 委嘱状交付(1名) あいさつ 〃
事務局 議長(会長) 事務局 議長(会長) 委員 事務局 議長(会長) 事務局 議長(会長) 委員 委員 事務局 委員	委員及び出席職員の紹介 欠席の委員が1名、出席が過半数であり、登米市図書館協議会規則第2条第3項の規定に基づき会長が議長となる。 —協 議— (1) 令和3年度登米市立図書館(室)事業実績報告についての説明を事務局から願います。 【資料に基づいて事業実績を説明】 ただいまの説明に関して、ご質問、ご意見があれば伺いたい。 職場体験の内容について詳しく説明してほしい。 中学生の体験学習では、図書の貸出、返却、書架の整理、雑誌等リサイクル事業の準備、本の修理、新刊図書の装丁、しおりの作成、おすすめ本の紹介など行いました。また、社会福祉協議会ボランティア(Jボラ)体験も同じ内容で3回行いました。 ほかに質問がなければ、(2) 令和4年度登米市立図書館(室)事業計画について事務局より説明願います。 【資料に基づいて事業計画を説明】 ただいまの説明に関して、ご質問、ご意見があれば伺いたい。 広報「とめ」で図書館のコーナーがなくなった。ホームページ、ラインより効果があったと思うと残念だ。 半ページでもいいので、復活はしないのでしょうか。 広報での復活の予定はございません。広報は全戸配布で周知の効果はかなりあったと思われます。図書館(公民館)だよりの市内毎戸配布は出来ませんので、これまで配布していなかった各公民館には配布することで、見て頂きたいと考えています。今後も情報発信について、何を出来るか考えながら進めたいと思っています。 図書購入の予算も増え、上杉文庫事業で図書購入を行えば、大台(1千万円以上)になるが、市の購入費が宮城県平均160円/人程度になるのでしょうか。

事務局	<p>市の図書購入予算が約 600 万円、上杉図書購入費が約 500 万円で合計 1 千 1 百万円になりますが、正確に計算していませんが、県平均になるには 13,000 千円程度になると思われます。</p> <p>市の購入予算の 600 万円については、県平均の半額程度になるように要求を行い増額となりました。今後も県平均に近づくよう要求していきたいと思います。</p>
委員	<p>予算がないと本も買えないので、努力して下さい。</p>
議長(会長)	<p>ほかに質問がなければ、(3) 新図書館構想について事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>【資料に基づいて新図書館構想について説明】</p>
委員	<p>今回の見直しは、平成27年に策定した図書館構想をすべて破棄して、新しい構想を作るといえることですか。</p> <p>また、P 4・問5の質問内容だと貸出、返却、レファレンスだけの図書館と違うイメージではないか。どういったイメージで考えているのですか。</p>
事務局	<p>現行の図書館構想から7年近く経過し、今、図書館に求められているものも多様化しています。新しい図書館として何が必要か現況の市民のニーズを把握するためのアンケート調査を行い、構想の見直しを図りたいと考えています。ゼロベースで始めるのではなく、現在ある構想の見直しを行い進めたと思います。</p> <p>大崎市、気仙沼市など近隣の新しい図書館は、人の集まる複合施設であり、本市でも図書館単体ではなく、人が集い、地域が活性化する施設として考えています。これまでの構想でも生涯学習施設の複合化に触れていますが、それに加えてもっといろいろな見方が出来ると思われまので、アンケート調査や、協議会など様々な方から意見を頂きながら反映して行ければと考えています。</p>
委員	<p>前回の構想策定に参加し、だいぶ検討したが、結局計画倒れだった。今回もまた同じことの繰り返しではないのか。予算はついているのか。</p>
事務局	<p>前のご協力していただき、構想が進まなかったことをお詫びしたいと思います。市長は新しい図書館の建設を目指して行くことを所信表明や施政方針で明言しています。具体化するには場所や財源など様々な問題をひとつひとつクリアして進めたい思っていますので、実現に向けて協議会のご協力を頂きたいと考えています。</p>
議長(会長)	<p>叩き台がないと図書館建設も進まないと思いますので、協議会でも協力して行きたいと思います。</p>
事務局	<p>アンケート調査を6月16日から予定していますので、調査に関連する意見がございましたら6月6日まで生涯学習課にFAX・メール等で報告して下さいをお願いします。</p>

議長(会長)	その他になりますが何かございますか
委員	県図書館でも視覚障害のある方に対して手厚いサービスがあるが、知的障害の方に対してうすい(少ない)と感じている。登米市では子供読書活動推進計画を策定しているが、支援学校に対して調査が行われていなかった。新図書館建設については、障害のある方、その家族の方が来館し易いように検討することも必要と考えました。
議長(会長)	貴重なご意見ありがとうございます。他にご質問、ご意見がなければ、議事を終了させていただきます。
副会長	閉会のあいさつ
	(閉会)